

PICK UP!!

お 職員の推し本



学校を休んだ日は本をひらいて

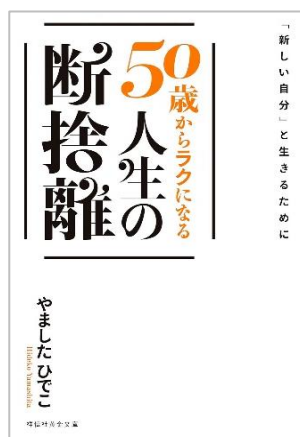
清 繭子 / 主婦と生活社

学校に行くの、実はあんまり好きじゃありませんでした。しょうがないから行っていただけ、行った先では毎日図書室に通い、本を借りてはずっと本を読んでいた。現実逃避半分、ここじゃない世界を知りたいという思いが半分だったのかなと思います。この本はそんな『学校に行くのが嫌だった人や、学校に行くのが嫌な人にちょっとだけ勇気を与える人がおすすめしてくれる本』の本。学生さんにはもちろんおすすめですが、実は大人の人にこそ読んでもらいたい1冊でもあります。今ある目の前の現実だけが世界の全てじゃない。いつだって本はきっと、あなたを優しく迎えてくれるはずです。

50歳からラクになる人生の断捨離

やました ひでこ / 祥伝社

この本は、断捨離（だんしゃり）の提唱者である著者が、自身の体験や全国で開催するセミナーで寄せられた悩みから生まれた「人生の断捨離」法を伝えています。人生100年時代と言われますが、50歳はちょうど折り返しの年齢です。私は昨年ちょうどこの年齢に達したので、参考になる部分がたくさんありました。いらないモノの片付けはさることながら、これまでの人生で蓄積された重たい荷物（気持ち）もおろして、ごきげんな「自分のための人生」を始めてみませんか？



団地のふたり

藤野 千夜 / 双葉社

築60年の団地に暮らす50歳、独身、幼なじみの2人の友情をユーモラスに、ほのぼの描いた小説です。できないことは頼ったり、「面倒くさいなあ」と言いながら助けてあげるゆるい友情が和みます。一緒にご飯を食べ、映画を見て、時にケンカをして、団地のお年寄りの相談に乗って、かわりばえのないような、でもどこかに小さな楽しみがひそんでいる毎日っていいなと思います。贅沢をするより、節約しつつ身近な幸せを感じたい！と思う方には共感できる場面が多々あります。続編の「また団地のふたり」も図書館にありますので2冊あわせてお楽しみください♪

